

サムシングホールディングス株式会社 2017年12月期第2四半期 決算説明会



- ◆ 会社概要
- ◆ 2017年12月期第 2 四半期決算内容
- ◆ 今期の取り組み
- ◆ 中期経営計画
- ◆ 参考情報
 - ✓ 事業内容
 - ✓ 近年のTOPICS

A large, semi-transparent orange 'S' shape that serves as a background for the main title text.

会社概要

社名	サムシングホールディングス株式会社
事業内容	<p>地盤改良事業</p> <p>保証事業</p> <p>地盤システム事業</p> <p>海外事業</p> <p>その他事業</p>
上場市場	<p>東京証券取引所JASDAQ</p> <p>➤ 地盤調査、改良を主業とする会社では唯一の上場企業</p>
設立	2000年（前身の(株)サムシングは1997年設立）
グループ会社数	10社
従業員数	単体23名、連結359名（2016年12月末時点）
資本金	484,820千円（2016年12月末時点）
売上高	10,006,910千円（グループ連結、2016年12月期）



サムシングホールディングス(株)

●事業子会社の経営管理・企画・財務 ●新規事業開発

地盤改良事業



(株)サムシング

(株)サムシング四国

設立：1997年

設立：2009年

資本金：50,000千円

資本金：13,000千円

(23.1%出資)

事業内容

地盤調査・地盤改良工事、
沈下修正工事

事業内容

四国地方での地盤調査・地盤改良工事

保証事業



(株)G I R

Something Re.
Co.,Ltd.

設立：2000年

設立：2001年

資本金：100,000千円

資本金：13,000千円

事業内容

地盤保証「THE LAND」
や住宅完成保証「住まいる
ガード」の提供

事業内容

キャティブ事業
(再保険事業)

地盤システム事業



ジオサイン(株)

設立：2008年

資本金：76,250千円

(51.6%出資)

事業内容

独自開発の地盤調査システム
(G-Web System) や地盤
調査機のレンタル・販売

海外事業

SOMETHING HOLDINGS
ASIA PTE. LTD.

SOMETHING VIETNAM
CO.,LTD.

JAPANEL HOME
(CAMBODIA) CO.,LTD.

設立：2013年

設立：2013年

設立：2014年

資本金：350,000SGD

資本金：6,217百万VND

資本金：300,000USD

事業内容

東南アジア子会社への
投資、及び経営管理

事業内容

ベトナム国においての地盤調査・住宅建材の製造・販売
地盤改良工事

事業内容

住宅建材の製造・販売

その他事業



住まいる検査

(株)住まいる検査

(株)アシスト

設立：2008年

設立：2013年

資本金：5,000千円

資本金：10,000千円

事業内容

新築住宅・中古住宅の検
査業務

事業内容

地盤調査・改良の研究開
発

サムシンググループのビジョン

地盤事業を中心とした事業展開・技術開発によるイノベーションにより、
価値創造事業グループを目指します



住まいの安全を地盤から支える

地盤の技術力

多くの独自工法を開発

地盤データの透明化

独自の地盤システムを用いて、
データの特定・保管を行う

事業の多角化

地盤事業を中心に、保証・
住宅検査・海外等の
関連分野へ展開

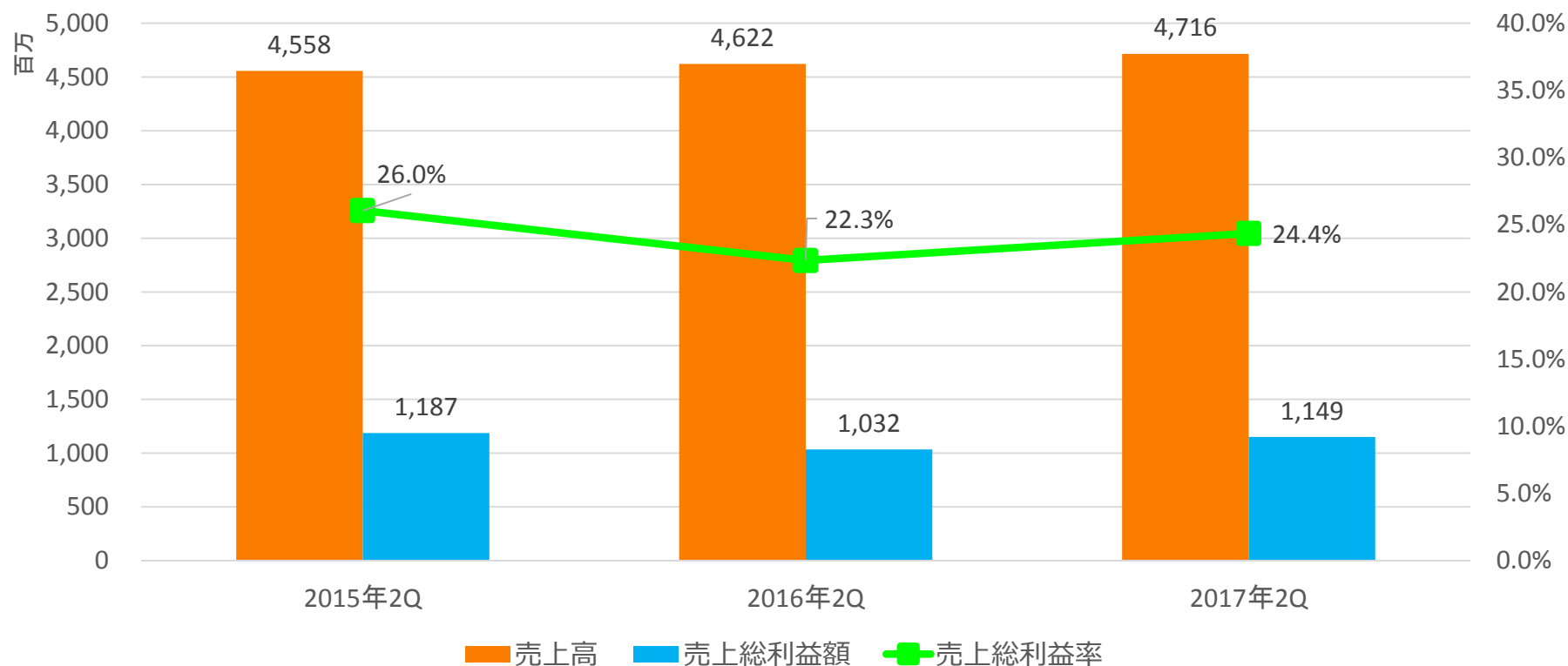
2017年12月期第2四半期 決算内容

- ◆ 非戸建て住宅の売上拡大
- ◆ 自社機稼働率向上の取組みなどにより、売上総利益率が改善

単位：百万円、%

	2015年2Q		2016年2Q		2017年2Q			対前期 増減額
	実績	売上比	実績	売上比	実績	売上比	前期比	
売上高	4,558	100.0	4,622	100.0	4,716	100.0	2.0	94
売上原価	3,371	74.0	3,589	77.7	3,567	75.6	△0.6	△21
売上総利益	1,187	26.0	1,032	22.3	1,149	24.4	11.3	116
販売費及び 一般管理費	1,219	26.8	1,167	25.3	1,219	25.8	4.4	51
営業損失	△32	△0.7	△134	△2.9	△69	△1.5	-	65
経常損失	△40	△0.9	△183	△4.0	△88	△1.9	-	95
親会社株主に帰属 する四半期純損失	△210	△4.6	△177	△3.8	△113	△2.4	-	64

◆ 売上総利益率の前期比向上、及び売上高の前期比増加が寄与し、売上総利益額は増加



- ◆ 長期借入金の返済により、固定負債が減少
- ◆ 親会社株主に帰属する四半期純損失計上により、純資産が減少

単位：百万円

	2015年 12月末	2016年 6月末	対前期12月末 増減額	2016年 12月末	2017年 6月末	対前期12月末 増減額
流動資産	4,153	4,077	△76	4,359	3,992	△367
固定資産	1,289	1,244	△44	1,175	1,199	24
資産合計	5,443	5,322	△120	5,539	5,195	△343
流動負債	3,324	3,311	△13	3,352	3,282	△69
固定負債	1,117	1,134	17	840	674	△165
負債合計	4,441	4,445	4	4,192	3,956	△235
純資産合計	1,001	876	△125	1,347	1,239	△107
負債純資産合計	5,443	5,322	△120	5,539	5,195	△343

◆ 長期借入金の返済により、財務活動によるキャッシュフローが減少

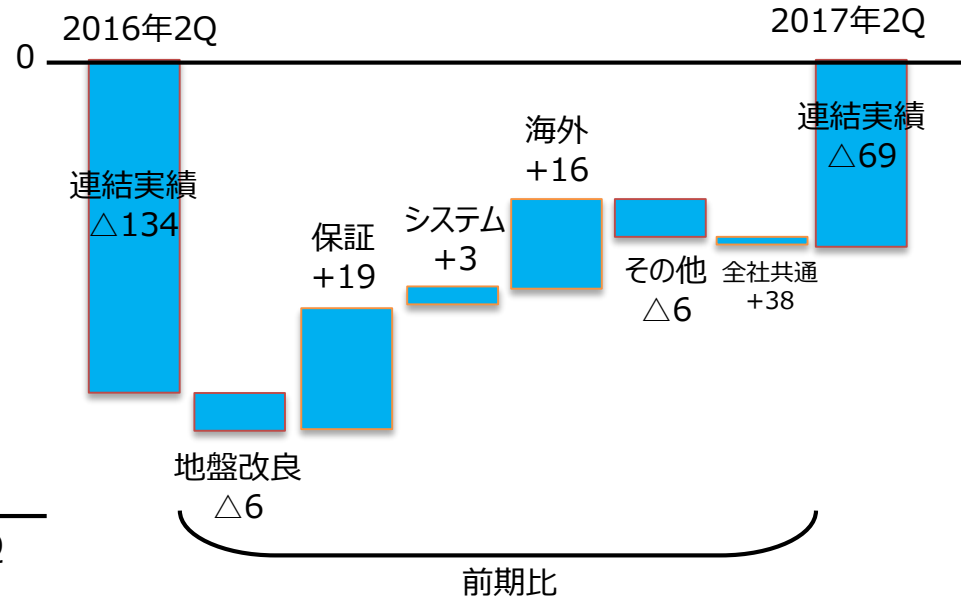
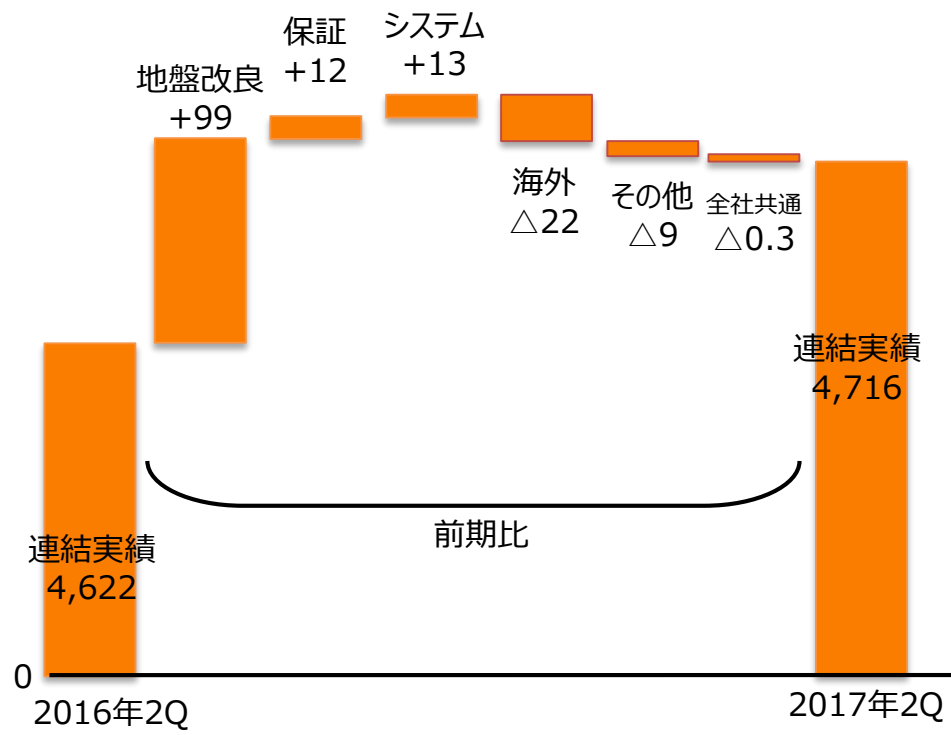
単位：百万円

	2015年2Q	2016年2Q	2017年2Q	
	実績	実績	実績	対前期 増減額
税金等調整前四半期純損失（△）	△248	△185	△132	52
営業活動によるキャッシュ・フロー	△13	△199	7	207
投資活動によるキャッシュ・フロー	△330	△66	△129	△63
財務活動によるキャッシュ・フロー	18	240	△159	△400
現金及び現金同等物の増減額（△減少）	△320	△37	△288	△250
現金及び現金同等物の期首残高	1,282	1,315	1,346	
現金及び現金同等物の第2四半期末残高	961	1,277	1,057	

- ◆ 地盤改良事業の売上高は、大型物件工事及び独自工法の拡販が寄与し、前期比増加
- ◆ 保証事業・地盤システム事業は安定してセグメント利益が増加

【売上高】 (単位：百万円)

【セグメント損益】 (単位：百万円)



注：全社共通は、セグメント間取引消去及び全社費用の合計

A large, light orange, stylized 'S' graphic that serves as a background for the main title text.

今期の取り組み

【地盤改良事業】

◆ 工事工程管理の強化

- ✓ 目的：自社機稼働率向上などによる利益率の改善
- ✓ 施策：全事業所を横断した組織である工程管理部を新設

【地盤改良事業】

◆ 大型物件工事の拡販

- ✓ 売上・件数ともに前期比増加
- ✓ 売上総利益率は戸建住宅工事より高い水準であった
- ✓ 大型物件の構造別では、アパート・マンション・店舗が好調

【地盤改良事業】

◆ 当社独自工法の拡販

■ エコジオ工法

- ✓ 自然砕石を使用しており、環境に優しい
- ✓ 液状化現象の対策が可能
- ✓ 売上高は前期比28.0%増

■ コラムZ工法

- ✓ 小規模の地盤改良機で大型物件の工事が可能
- ✓ 売上高は前期比19.3%増

「エコジオ工法」



従来の工法



コラムZ工法



(大きさ比較)

【保証事業】

- ◆ 地盤保証「THE LAND」の拡販
- ◆ 住宅完成保証の拡販

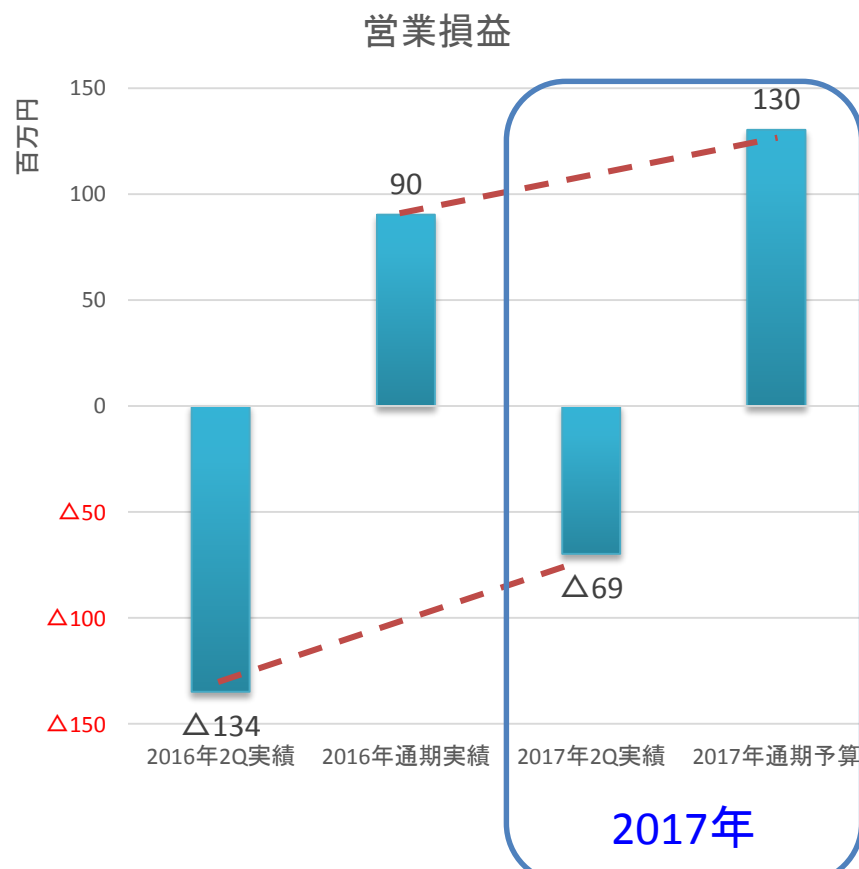
【地盤システム事業】

- ◆ 大手ハウスメーカーへの地盤システム「G-Web system」の拡販
- ◆ 資本提携先を通じた「G-Web system」の拡販

【海外事業】

- ◆ ベトナム国における河川の地盤改良工事の拡販
- ◆ カンボジア国における住宅建材WPC事業の立ち上げ

- ◆ 第2四半期では、売上高が前期比+94百万円、営業損失は前期比+65百万円改善し、通期予算比においても順調に進捗
- ◆ 営業利益は、地盤改良事業の今期取り組みが奏功していることに加え、地盤システム事業の外部環境が良好な点も寄与



A large, light orange, stylized 'S' graphic that serves as a background for the main title text.

中期経営計画

ビジョン

価値創造事業グループを目指します

基本方針「GLOCAL」(2017年～2019年)

- 地域密着でお客様の要望に応える
- 最先端の技術開発
- グローバルな海外進出

中期ミッション

- 正しいことを、正しく行い、業界の透明化を推進
- 災害を教訓として、災害に強い地盤技術を開発し、提供
- 日本の技術力を世界に広め、豊かさを提供

【国内】

- ◆ 地盤改良事業のシェア拡大・利益率向上
- ◆ 当社独自地盤システムの更なる拡販

【海外事業】

- ◆ ベトナム国における公共事業を中心とした地盤調査・改良工事の拡販
- ◆ カンボジア国を中心とした東南アジアにおける住宅建材・建設請負事業の推進

2017年

2018年

2019年

【地盤改良事業】

～当社グループの技術力と顧客対応力を活用した
高付加価値サービスの提供の促進～

- ◇業界No. 1 の安全と生産効率の調和
- ◇技術営業力の向上と大手顧客への拡販
- ◇品質管理体制強化と差別化を図ることができる
技術開発と導入
- ◇人材育成とモチベーションアップを企図した
人事評価制度及び教育制度の導入

【保証事業】

～地盤改良事業とのシナジー効果～

- 地盤総合保証「THE LAND」の商品多様化
- 認定店制度を活用した地盤保証販売網の拡大

- ◇ 新たな収益商品の開発・導入・販売による利益の拡大
- ◇ グループ総力を上げた技術力の提供により
認定店サービスを拡充
- ◇ 全員営業による建築会社への営業推進

【地盤システム事業】

◇地盤データシステム「G-Webシステム」の顧客層の拡大

※「G-Webシステム」とは、地盤データの不正・改ざんを防止する機能を備えた地盤データシステム

【海外事業】

◇WPCの製造・販売、及び住宅建設、並びに地盤調査・改良工事の推進

※WPC・プレキャストコンクリートパネル

【その他事業】

◇瑕疵担保履行法に基づく住宅検査受託業務に加えて、既存住宅の検査等、従来サービス拡大

- ◆「地盤から建物・海外へと新しい価値の創造」
- ◆『グローバルとローカル』を併せ持つ企業への成長

単位：百万円

	2016年	2017年12月期		2018年12月期		2019年12月期	
	実績	計画	前期比	計画	前期比	計画	前期比
売上高	10,006	10,716	7.1%	11,499	7.3%	12,316	7.1%
営業利益	90	130	44.4%	242	86.4%	331	36.4%
経常利益	77	109	41.3%	222	104.2%	310	39.7%

参考情報 (事業内容)

◆ 地盤調査とは？

- 住宅や商業施設等を建設する前に地盤の強度や土質を調査

◆ 当社の強み

- 独自開発の調査機や、経験が蓄積された地盤解析等の技術力
 - 独自のボーリングマシン「地盤王ホリ・ススム」を開発



独自開発のボーリングマシン
「地盤王ホリ・ススム」

◆ 地盤改良とは？

- 地盤調査の結果を基に、建物の重みに耐えられるよう地盤を補強

◆ 当社の強み

- 多くの工法を研究開発
 - 液状化対策ができるエコジオ工法
 - 店舗やアパートの工事に効率の良いコラム工法



「エコジオ工法」

- 戸建住宅だけでなく、店舗・アパートにも拡販
- シノケングループと資本業務提携（2016/9/12開示）

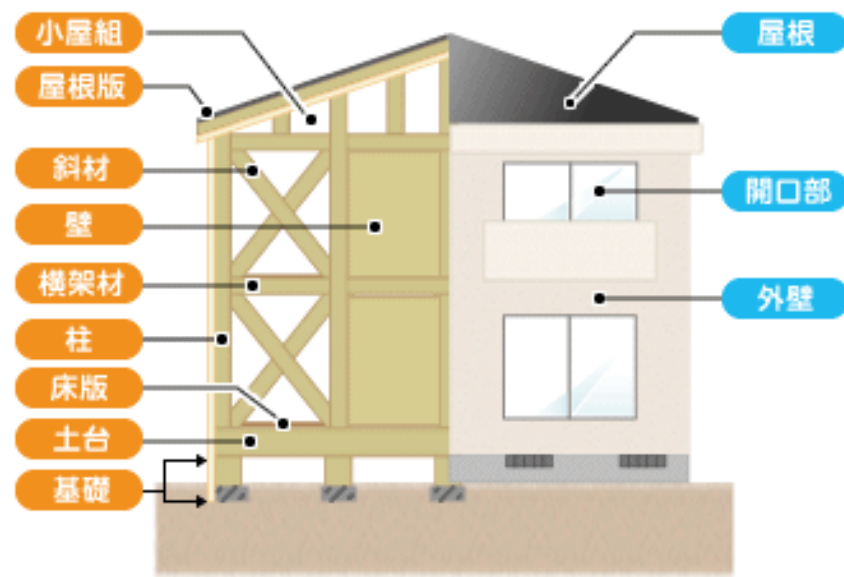
◆ 地盤保証とは？

- 地盤沈下が起きた場合、保証を行う「THE LAND」
(背景：既存の法律では地盤が原因の事故は補償されない)

◆ 当社の強み

- サムシンググループの支店ネットワークと、認定店による広い販売網
 - 地盤保証実績は累計 6 万棟以上

【木造(在来軸組工法)の戸建住宅の例】
2階建ての場合の骨組(小屋組、軸組、床組)等の構成



瑕疵担保責任保険がカバーする範囲

◆ 地盤システムとは？

- 地盤調査・改良データを透明化する独自のG-Web system

◆ 当社の強み

- GPS・タイムスタンプを用いて場所と時間を記録
- クラウドサーバーを用いたデータ保管



- 地盤データの信頼性に対するニーズの高まり
→ 大手住宅メーカーからの受注増加
- LIXILグループとの資本業務提携（2016/4/11開示）

ベトナムでの地盤調査・改良工事

- 地盤が弱いベトナムで河川の護岸工事等に取り組む
- 国内で培った技術を東南アジアで展開



河川での試験施工

WPC製造販売・建築請負

- 日本の建材メーカーと提携し、WPC（プレキャストコンクリートパネル）住宅建材を製造・販売
- カンボジアにてWPC住宅を建築請負

2016年8月カンボジアにWPC建築を行う
新会社を設立（2016/6/24開示）



参考情報 (近年のTOPICS)

シノケングループとの資本業務提携（2016年9月12日プレスリリース）

資本提携	発行株式	<ul style="list-style-type: none"> 発行株式数875,000株 発行価額@340円 調達金額297.5百万円
	持株比率	<ul style="list-style-type: none"> シノケングループ：21.27%（第2位株主）
業務提携	国内	当社の地盤改良等をシノケングループのアパート・マンション販売に活用
	海外	WPC建材や地盤改良をシノケングループが東南アジアで行うマンション開発等に活用
メリット		<ul style="list-style-type: none"> シノケングループへの販売先の拡大 国内、海外への投資資金の確保

LIXILグループ子会社のジャパンホームシールド(株)と 子会社ジオサイン(株)の資本業務提携 (2016年4月11日プレスリリース)

資本提携	発行株式	<ul style="list-style-type: none"> 発行株式数250株 発行価額@150,000円 調達金額37.5百万円
	持株比率	<ul style="list-style-type: none"> 当社51.6% 兼松日産農林25.8%、 ジャパンホームシールド20.0% オリックス2.6%
業務提携		<ul style="list-style-type: none"> ジャパンホームシールド(株)が行う地盤調査・改良工事にジオサインの「G-Web system」を使用する。
メリット		<ul style="list-style-type: none"> ジオサインの売上拡大 「G-Web system」のスタンダード化

JAPANEL HOME (CAMBODIA) CO.,LTD.設立 (2016年6月24日プレスリリース)

事業内容

- WPC住宅建築請負・関連事業をカンボジアにおいて行う

形態

- 現地デベロッパーとの合弁会社

取組み

- 現地デベロッパーとの関係構築
- WPC建材製造における技術者の現地採用
- 現地生産及び組み立てを行うための教育実施
(SOMETHING VIETNAM CO.,LTD.にて)



タウンハウス現場写真

ご清聴ありがとうございました。

IR担当窓口

免責事項

本資料に記載されている計画、見通し、戦略は、作成時点において入手可能な情報に基づく将来に関する見通しであり、さまざまなリスクおよび不確実性が内在しています。実際の業績は経営環境の変動などにより、これら見通しと大きく異なる可能性があります。従いまして、将来の事業戦略・業績見通しに関する情報に全面的に依拠して、投資判断を決定することは避けるようお願いします。

また、本資料に記載されている当社および当社グループ以外の企業などにかかわる情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性などについて保証するものではありません。

サムシングホールディングス株式会社

部署：管理本部

TEL：03-5665-0840

Mail：ir@sthd.co.jp